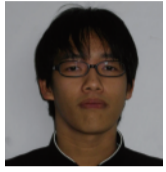


1 推薦入試・就職 結果速報

国公立大学 2 名 私立大学・私立短期大学多数！



愛知県立大学 情報科学部 岡田 悠助 (一色中)



長野大学 環境ツーリズム学部 久保 こなす (高浜中)

〈私立大学・短大・専門学校〉

〈私立四大・短大〉

愛知大学・愛知学院大学・桜花学園大学・金城学院大学・岐阜聖徳学園大学・星城大学・大同大学・中京大学・中部大学・豊橋創造大学・名古屋外国語大学・名古屋芸術大学・日本大学・日本福祉大学・人間環境大学 等

〈短期大学〉

愛知学泉短期大学・岡崎女子短期大学・名古屋女子大学短大部・名古屋短期大学 等

〈専門学校〉

安城碧海看護専門学校・県立愛知看護専門学校 等

碧南高校では、大学入試に必要な英語力はもちろん、留学・高校卒業後も使える英語力を育むために、目標設定の材料の1つとして、英語4技能検定 GTEC にも取り組み始めました。12月には1・2年生の過半数が検定にチャレンジしました。現在の中3生徒から大学入試のシステムが大きく変わり、外部の英語資格試験が取り入れられることになっていますが、碧南高校は既に対応し始めています。碧南高校で、力を伸ばしてください。

〈就職〉

〈事務職〉

アイシン辰栄株式会社
あいち中央農業協同組合
井上メッキ工業株式会社
医療法人十喜会
老人保健施設向陽
東光工業株式会社
西尾信用金庫
藤塗装工業株式会社
マルスギ株式会社
ロジテック株式会社
愛知県中央信用組合
石橋建設興業株式会社
岡田税理士事務所岡田雅彦
コトブキ精機株式会社
杉国工業株式会社
永田会計事務所
日新製鋼株式会社
衣浦製造所
日本郵便株式会社
東海支社

〈技能職〉

愛三工業株式会社
アイシン・エイ・ダブリュ株式会社(5)
アイシン機工株式会社
アイシン辰栄株式会社(4)
アイシン精機株式会社(4)
株式会社あいや
株式会社アドヴィックス
株式会社磯貝製作所
エヌティーテクノ株式会社
衣浦部品工業株式会社
株式会社クラタ
株式会社コーリツ
小林クリエイト(2)
株式会社サーテックカリヤ
株式会社サンシュウプレジジョン
三洲ワイヤーハーネス
株式会社シンダイ
株式会社スギヤス
中庸スプリング株式会社

株式会社 デンソー(3)
トヨタ自動車株式会社(4)
ビューテック株式会社
(株)マルサン木型製作所
株式会社 LIXIL LWTJapan
人事総務部(3)

〈販売職〉

スギ製菓株式会社



2 碧高留学生紹介 〈1年 サミュエル・ギャレット・タバナー〉

私は今までも日本の高校の経験はありました。碧南高校とアメリカの高校とでは授業の違いがあり、学校生活は難しいですけど楽しいです。アメリカでは沢山の授業を自由に選べました。日本に来る前までは美術と家庭科の授業を取ったことが無いので面白いと思いました。今、授業の中で生物と現代文が一番大変です。それで一週間に5回図書館で日本語を勉強しています。



また日本人の高校生は部活動があり、沢山の授業を取っているのがアメリカの高校生より忙しいです。私のクラスメートはいつも忙しくて週末はいつも遊べません。

私は茶華道部をしています。茶道具の使い方はとても難しいです。アメリカには茶華道部がありませんから面白くて楽しいです。

最後に皆さんは優しいです。先生は助けてくれて、クラスメートたちは私を温かく迎えてくれました。本当にありがとうございます。

3 碧高生活動紹介 〈商業科3年 加藤千尋 (碧南中央中)〉



「努力は最低条件」これは私が大切にしている言葉。

努力をしなければ成功することはない。だから私は進学することを目標に努力した。まず特待推薦で受験するために検定取得に励んだり、生徒会活動に参加したりして多くの武器を手にした。そして入学試験に向けて学校に帰り遅くまで残り先生に面接と作文の指導をもらった。努力し続けた結果、目標に達成することができた。

4 校長コラム 第15回 『協働できる力』 校長 坪井 基紀



今日から2月になりました。3年生の皆さんはあと1ヶ月で卒業式を迎えます。昨年11月に、経済協力開発機構(OECD)の国際学力調査の結果が発表されました。なんと15歳を対象にした「他人と協力して問題を解決する能力」についての日本の得点は、参加52か国・地域の中で第2位だったそうです。新聞報道では、課題解決能力に重点を置く近年の学校の取組や、協調性の大切さを学ぶ日本流教育が好成績につながったとの分析を示していました。また、実際の社会で起こりうる、価値観が全く異なる人との共同作業や想定外の状況にも対応できる力を育成する必要があるという教育専門家による今後の課題も示されていました。高校でも継続してこのような「協働できる力」を伸ばしていきたいと思えます。昨年7月に、私は久しぶりに現代社会の授業を商業科3年生のクラスで行いました。特定のテーマにつ

いて5人程度のグループで議論し、その経過と結論を模造紙に整理し、発表するというオーソドックスなグループ学習でした。この授業では、各グループがリーダーを中心に活発に議論し、意見を調整することができておりましたので、安堵しました。商業科や総合ビジネス科では、3年生で「課題研究」に取り組み、課題によっては企業や商店の方々と一緒に商品開発も行います。一緒に開発に取り組むのは大人ですから高校生とは当然意見や価値観が違います。だからこそ、議論をくり返しながら商品開発を進めていく活動はコミュニケーション能力や課題解決能力を育成するのに大きな効果があるようです。社会に出てからはこうした能力が必要になることでしょう。解決困難な状況を打開できる頼もしさを備えて本校を巣立ってほしいと思えます。